

SDGs達成に向けた取り組みチェックリスト

更新


















事業者名: 富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社 熊本工場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組を記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・全従業員対象に期首ごとに方針説明会を開催し製造本部長より経営理念や経営目標を共有しており、社の方針を基に各部・各課単位で課題に落とし込み実践している。								8	9							17				
	2	【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・関係する法令の遵守事項を取り纏める部署を設置しており、遵守事項のチェック及び社内規定の制定等を行っている。また、従業員への法令遵守に関するweb教育を実施している。																16				
	3	【公正な競争】 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・富士フィルムグループ行動規範に公正な競争について記載しており、不正競争行為に関与しない様、社外との取引や購買時のルール等について、web教育で従業員へ教育している。										10							16			
	4	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境管理の専門部署を設置している。																		16		
	5	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・富士フィルムグループとして、専門部署を設置しており、特許関係業務や知的財産権に関わる自社・他社情報分析及び計画管理業務等を行っている。								8.2 8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報管理規定」を作成し、個人番号及び特定個人情報の取扱いについて定めている。 ・当該規定に基づき専門の部署が適切に管理している。																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・富士フィルムグループで、定期的なアンケートや定例会・説明会等の様々な機会をいただいたご意見を自社の事業活動に反映させている。 ・富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング(株)としても、工場見学の実施や環境対話集会を開催し、地域とのコミュニケーションの機会として意見交換を実施している。																	16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震の経験も踏まえて社内独自のBCPを策定している。 ・消防立ち合いによる総合防災訓練として、地震などの自然災害を想定した訓練を年1回実施しており、都度改善している。 ・防災倉庫を設け、非常時の食料や備品等を備えている。											9		11					13.1	16	17
	10	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9									17	
	11	【公正な貿易】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2		5			8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・富士フィルムグループ行動規範に人権の尊重について記載しており、毎年eラーニングを行ない、従業員全員が記載事項を遵守することを宣言している。 ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・社内、社外に相談できる窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会にて安全衛生に関する情報の共有と、各部署への周知を行っており、各部署では自職場の労働環境の改善を継続して取り組んでいる。				3				8.8												
	14	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿って、不合理な待遇差禁止、福利厚生施設、労働者への転換措置、雇入れ時の説明、相談体制の整備周知を図っている。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・平成31年4月1日に施行された労働基準法等の改正内容を理解するために全従業員に向けて説明会の実施、定期的に従業員や役職者へeラーニングを実施している。 ・長時間労働防止のため毎月勤怠とりまとめを行ない、労働時間や休暇取得状況を確認し負荷防止に努めている。 ・また、6ヶ月平均45h/月超過者には健康アンケート記載、職場役職者との面談、必要に応じて保健師/産業医面談に繋げている。 ・富士フィルムグループとして、関係会社向けのM365ツールの活用事例の発表会を行う等、業務効率化に向けた取り組みを推進している。				3	5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・人材育成プログラムに沿って、従業員教育を実施している。 ・イントラネット上(+STORY)や外部研修への参加も推進している。 ・資格取得支援制度を定め、従業員のスキルアップ・学習意欲向上、会社運営に必要とされる資格保有の維持、業務に有用な資格取得・自己啓発による資格取得への支援している。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎年度、健康計画(生活習慣病予防、喫煙率低下、ガン健診受診率向上等)を立案し実行している。 ・社内イベントの実施や近隣飲食店及びジムと提携といった福利厚生により、運動やリフレッシュできる環境を整備している。				3				8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・富士フィルムグループとして「DE&I」推進に取り組んでおり、数値目標を関係会社毎に定め、達成に向けて取り組んでいる。 ・育児介護において法令で定められている以上の休暇日数や時間単位での取得を規定化している。 ・富士フィルムグループとして、性別関係なく、育児休業を取得したい従業員や取得させたい職場が安心して取得できる/取得させる環境を整えるべく、育児目的で柔軟な取得が可能、有給(賃金控除なし)の特別休暇制度を2024年に導入。 ・出産後の復職者が家事と育児の両立ができるよう必要に応じて小学校3年生まで(正社員は中学3年生まで)の時短勤務を認めている。 ・障がい者相談員を社内窓口である総務部に設置している。 ・居室内のバリアフリー環境を整備し、障がい者や高齢者の方に負担がかからない環境にしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・Web会議を推進している。 ・感染予防対策として、手指消毒液を居室や会議室等の出入りに設置、会議室机やPC等の共有部のアルコール拭きを行っている。 ・体調不良や感染した際の行動基準を構築している。				3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12							

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物・化学物質の性状を把握し、適切な管理を行っている。 ・処理に関しては、許可があり適切な処理が可能な処理業者を選定し、処理を委託している。 ・ISO14001を取得している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置し、使用電力の節電に取り組んでいる。 ・事業活動に伴うエネルギー使用量を把握し、設備改善や製造計画調整等を行い、継続してエネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動に伴うCO2排出量を把握し、設備改善や製造計画調整等を行い、継続してCO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・エネルギー供給源として、燃料に天然ガスを使用することでCO2削減を行っている。			2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動に伴って発生する排水・排気等の濃度を監視しており、法基準を遵守している。 ・廃棄物についても、環境影響を出さない様、適切に処理している。						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・製品製造の中で発生した基準外品を原料として再使用することで、廃棄物を削減し、資源を有効に活用している。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・製造工程で使用する冷却水に雨水を利用し循環使用していることで、地下水の揚水量の削減に取り組んでいる。 ・地下水涵養田による涵養事業を行っている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング(株)で製造しているTACフィルムについて、バイオマークの認証を取っている。 ・蛍光灯のLED化を促進している。										9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内の緑地管理に力を入れており、「令和2年度 緑化優良工場等表彰 経済産業大臣賞」を受賞している。														11.6 11.7		13.1 13.3	15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置し、使用電力の節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・白川上流域の水源地かん養機能を増進するため、水源地かん養林を植林・整備する契約を結び、5.24haにコナラやヤマザクラなどの広葉樹1万3千本を植林している。							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																												
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・環境や安全性に影響がない基準を制定し、徹底した検査にて出荷の可否を決定している。 ・原材料及び製品について、受入から出荷までの全工程でトレーサビリティが取れるように管理している。			3.9						9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・通常のドアから自動ドアへの変更。 ・構内通行場所の路面段差を解消。 ・センサー蛇口の設置。									9.1	10	11.7									17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●									2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・当社の活動に対する日頃からの理解と協力への感謝と共に、地域との絆を深めることを目的にした「さくらイベント」を毎年開催している。 ・工場で余剰になった熱を工場に隣接した公共温泉施設「さんさんの湯」に供給することで温泉施設の燃料使用量が減り、二酸化炭素排出量を削減している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・様々な災害を想定したBCPマニュアルを整備している。 ・年に1回以上、災害に備え防災訓練を実施しており、地震による火災・怪我人発生・溶剤漏洩等を想定して、従業員で構成している自衛消防組織を中心とした初動対応を訓練している。 ・発生時に防災倉庫を拠点に災対活動をできる様、生産エリアから離れた場所に防災倉庫を設置しており、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・ハザードマップの従業員周知を実施している。				4								11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●								1.5		3	4					10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●														9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・近隣中学校より中学生を受入れ、職場体験を実施している。 ・県内高校や特別支援学校よりインターンシップを受け入れている。				4								8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		・毎年県内の高校から採用している。 ・特別支援学校へ授業の一環で働くことについて講演をしている。												8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●									2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15	17	